



「弓削島荘遺跡」 国史跡指定記念 シンポジウム

日時

令和4年6月19日 日

13:00～16:50 (開場12:30)

会場

せとうち交流館 多目的ホール

愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1037番地2

定員:150名 入場無料、事前申し込み不要

講演1

「史跡の保存と活用ー荘園遺跡を中心にー」

山下信一郎 氏 (文化庁文化財第二課長)

講演2

「弓削島荘と上島町の塩業遺跡」

村上 恭通 氏 (愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター長)

講演3

「中世を継承する弓削島」

服部 英雄 氏 (九州大学名誉教授、名古屋城調査研究センター所長)

パネルディスカッション

「地域の宝『弓削島荘遺跡』をどのように守り、伝え、活かすか」

コーディネーター: 山内 譲 氏 (元松山大学教授)

パネリスト: 山下信一郎 氏 ・ 村上 恭通 氏 ・ 服部 英雄 氏

日和佐宣正 氏 (愛媛県教育委員会文化財保護課主幹)

有馬 啓介 (上島町教育委員会教育課生涯学習係主査)



上島町デジタル
アーカイブ

主催・お問い合わせ先

〒794-2520 愛媛県越智郡上島町弓削佐島583番地



上島町教育委員会(教育課) TEL:0897-77-2128

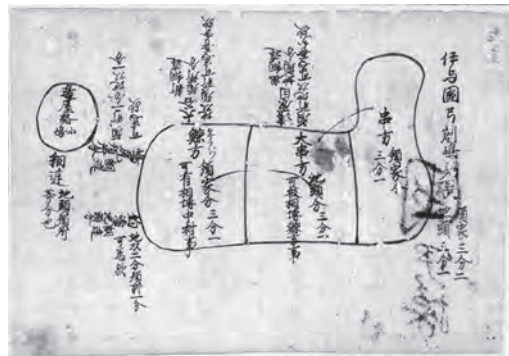
「弓削島荘遺跡」国史跡指定記念シンポジウム

令和3年 10 月 11 日付け官報告示（官報号外第 230 号、文部科学省告示第 164 号）により、愛媛県越智郡上島町に所在する「弓削島荘遺跡（ゆげじまのしょういせき）」が正式に国の史跡に指定されました。上島町は、この史跡指定を記念してシンポジウムを開催します。本シンポジウムの開催が弓削島荘遺跡の価値や歴史的な意義を広く知っていただく機会となり、地域の宝である弓削島荘遺跡を未来へと継承していく大きな一歩となれば幸いです。

弓削島荘遺跡の概要

弓削島荘遺跡は、瀬戸内海の芸予諸島の東端に位置する上島諸島に属する弓削島及びその北東に浮かぶ百貫島とその周辺海域からなる荘園遺跡です。荘園は、平安時代後期から室町時代まで存続し、鎌倉時代の延応元年（1239）からは東寺（教王護国寺、京都市）領となりました。東寺に伝えられた「東寺百合文書」等に関係史料が多く残り、塩を貢納した「塩の荘園」として日本史上よく知られています。

上島町教育委員会が平成 28 年度から令和2年度にかけて実施した弓削島荘総合調査に基づき、荘園に関わる東泉寺、高浜八幡神社、願成寺、弓削神社、定光寺、揚浜式塩田であったと考えられる大田林の塩浜、及び弓削島の北東に位置し漁業が行われた百貫島とその周辺海域が国史跡に指定されました。文書にみられる塩浜、寺社などの荘園時代の痕跡が今も遺存しており、中世の荘園の具体的様相を知る上で稀有な事例です。また、瀬戸内海における中世の製塩業の実態や、瀬戸内海の海上交通を知る上でも重要と評価され、史跡の指定に至りました。



伊予国弓削島荘地頭領家相分差図
（「東寺百合文書」と函 153）
（京都府立京都市・歴史館 東寺百合文書 WEB から）

プログラム

令和4年6月19日(日)

第1部 13:00～14:45

- 開会行事
- シンポジウムの趣旨説明 山内 譲
- 講演1「史跡の保存と活用－荘園遺跡を中心に－」
講師：山下信一郎
- 講演2「弓削島荘と上島町の塩業遺跡」
講師：村上恭通

休憩 14:45～15:00

第2部 15:00～16:50

- 講演3「中世を継承する弓削島」
講師：服部英雄
- パネルディスカッション
「地域の宝『弓削島荘遺跡』を
どのように守り、伝え、活かすか」
コーディネーター：山内 譲
パネリスト：山下信一郎・村上恭通・服部英雄
日和佐宣正・有馬啓介
- 閉会行事

講師・パネリスト紹介



山内 譲（やまうち ゆずる）
1948 年、愛媛県生まれ。京都大学文学部卒業。博士（文学）。愛媛県内の高等学校教員を経て、松山大学法学部教授。現在、伊予史談会会長。専門は日本中世史。著書に『瀬戸内の海賊 村上武吉の戦い【増補改訂版】』（新潮選書、2015 年）、『海賊の日本史』（講談社、2018 年）などがある。



山下 信一郎（やました しんいちろう）
1966 年、東京都生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学。博士（文学）。奈良文化財研究所を経て、文化庁文化財部記念物課勤務。現在、文化庁文化財第二課長。専門は日本古代史。著書に『日本古代の国家と給与制』（吉川弘文館、2012 年）がある。



村上 恭通（むらかみ やすゆき）
1962 年、熊本県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士（文学）。現在、愛媛大学アジア古代産業考古学センター長・教授。専門は考古学。編著書に『古代国家成立過程と鉄器生産』（青木書店、2007 年）、『モノと技術の古代史 金属編』（吉川弘文館、2017 年）などがある。



服部 英雄（はっとり ひでお）
1949 年、愛知県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。博士（文学）。文化庁文化財調査官、九州大学大学院比較社会文化研究院教授、くまもと文学・歴史館館長を歴任。現在、九州大学名誉教授、名古屋城調査研究センター所長。専門は日本中世史。著書に『しづさ・表情 蒙古襲来絵詞復原』（海鳥社、2022 年）などがある。



日和佐 宣正（ひわさ のぶまさ）
1962 年、愛媛県生まれ。現在、愛媛県教育委員会文化財保護課主幹。専門は中世城郭史。愛媛県内を中心に中世城郭の調査・研究に取り組む。近年は、「四国遍路」の詳細調査が実施され、国史跡指定等によるその保存・継承を精力的に推進している。



有馬 啓介（ありま けいすけ）
1977 年、山口県生まれ。現在、上島町教育委員会教育課生涯学習係主査（学芸員）。専門は考古学。2013 年の入庁以来、上島町の文化財保護行政に従事する。弓削島荘遺跡の史跡指定に係る調査及び事務の取りまとめを行った。



○会場へのアクセス 弓削港から徒歩で約2分。生名島立石港から車で約10分。

上島町教育委員会(教育課)

〒794-2520 愛媛県越智郡上島町弓削佐島583番地
TEL:0897-77-2128 / kyoiku@town.kamijima.ehime.jp

上島町デジタルアーカイブ

検索

<http://www.kamijima-archive.jp/>

